

第5学年 体育科学習指導案

日時 平成22年10月22日(金) 4校時
場所 北厨川小学校体育館
児童 5年2組(男17名 女17名 計34名)
指導者 熊谷 光芳

1 単元名 ジャンプアップ! 跳び箱運動 (B 器械運動 ウ 跳び箱運動)

2 目標

〈関心・意欲・態度〉

- ・跳び箱運動に進んで取り組もうとする。
- ・約束を守り、友達と助け合って技の練習をしようとする。
- ・器械・器具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとする。
- ・場の危険を取り除いたり、器械・器具の安全に気を配ったりしようとする。

〈思考・判断〉

- ・課題の解決の仕方を知り、自分の課題に応じた練習の場や段階を選んでいる。
- ・技をつなぐ方法を知り、自分の力に合った技を組み合わせている。

〈技能〉

- ・大きな開脚跳びや大きな台上前転、かかえ込み跳びができる。

3 単元について

(1) 教材について

「器械運動」は、器械・器具を使った「技」に取り組んだり、それを達成したりしたときに楽しさや喜びを味わうことができる運動領域である。また、より困難な条件の下でできるようになったり、より雄大で美しい動きができるようになったりする楽しさや喜びがある。

跳び箱運動は、いろいろな高さや向きの跳び箱を安定した動作で跳び越したり、できそうな跳び方に挑戦したりすることで楽しさや喜びを味わうことができる運動である。また、できるようになった技の中から、同じ技や異なった技を組み合わせ、タイミングを合わせて演技することで楽しむことができる運動である。

(2) 児童の実態について

体育の学習や体を動かすことに意欲的な児童が多い。男子の多くは、スポーツ少年団などで普段から運動に親しんでおり、運動の技能が優れている児童も数名いる。一方女子は、全体的に運動が得意でない児童が多く、体育に対して苦手意識を持っている児童も数名いる。

4年生の跳び箱運動では、開脚跳びやかかえ込み跳び、台上前転を学習し、数名の児童が大きな台上前転ができる。

5月末に行ったアンケートの結果、各技を「できる」と答えた児童は、開脚跳び30名、かかえ込み跳び13名、台上前転21名であった。また、跳び箱運動を「好き」「やや好き」と感じている児童は26名と多く、「上手に跳べるようになりたい。」「きれいな台上前転ができるようになりたい。」など、跳び箱運動の学習に対して、前向きな気持ちをもっている児童が多い。

(3) 指導について

本単元では、様々な支持跳び越し技を体験するとともに、友達と関わり合いながら、それぞれの技を身に付けられるようにしていきたい。その中で、新たな技を習得する喜びや、自分の技能の向上を感じながら、意欲的に取り組めるようにしていきたい。

そこで、単元を通して腕支持や腕の突き放しなどの力を高める6つの運動を取り入れた「跳び箱セットメニュー」を行い、様々な支持跳び越し技の基礎的な感覚づくりや基本的な動きづくりに取り組ませていく。

また、支持跳び越し技の技能を習得する手立てとして、グループ毎に技のポイントを見つける場を設定し、自分たちで見つけたポイントを意識させながら、取り組ませていく。さらに、技のポイントを身に付けるために、段差のある跳び箱やマットなど工夫した場を設定して取り組ませていく。そして、その活動を通して身に付けた技能やポイントを、新たな技の習得に向けて活用していけるようにしていきたい。

【研究とのかかわり】

研究内容

① 教材および単元計画の工夫・改善

- ・単元を通して準備運動に「跳び箱セットメニュー」を取り入れ、様々な支持跳び越し技の基礎的な感覚づくりや基本的な動きづくりに取り組みさせていく。
- ・4年生までに学習した技や新たに身につけた技を試す場を位置付け、繰り返しいろいろな技に取り組むことで、確実に技の習得ができるようにしていく。

② 運動技能ポイントのつかませ方と活かし方

- ・グループで互いの演技を見合いながら、技のポイントを見つける場を設定するとともに、体育ノートや掲示物に、見つけたポイントを記述して、今後の学習に活かせるようにしていく。
- ・セットメニューが基礎的な動き・基本的な技になっていることを理解させ、運動のポイントを考える時のヒントにさせる。

③ 運動の特性に即した活動の取り入れ方

- ・技の系統性に即して基礎的な感覚づくりや基本的な動きづくりをし、児童の技能を高めていきたい。
- ・互いの技のできばえを評価したり、教え合ったりするような活動を位置づけ、自分がその技のどの段階までできていて、何が課題なのか分かるようにすることで、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。

4 指導計画（2つの学年のまとめりとして）

(1) 習得を学習の中心に据えた5年生の単元計画（8時間扱い）

時	1	2	3	4 (本時)	5	6	7	8
5	オリエンテーション ・学習のねらい ・学習の進め方 ・学習の約束	用具の準備・あいさつ 準備運動の跳び箱セットメニュー (①ステージへの跳び上がり・ステージからのうさぎ跳び下り・前転下り, ②セーフティーマットへの前転, ③マット越えうさぎ跳び, ④連続馬跳び, ⑤連続うさぎ跳び, ⑥カエルの足打ちからの前転)						
15	(服装・用具の準備・後始末・きまり)	めあての確認 (1) 基本的な支持跳び越し技のポイントを見つける活動をする。 (2) 自分の力に合った場を選び、グループ内で教え合いながら、それぞれの技が安定してできるように活動する。 (3) それぞれが身に付けた技を発表し合う。						発展技
25	・場作りの説明							
35	・準備運動の仕方 (セットメニュー)							
45	・ふりかえりの仕方							
45	学習のふりかえり・後片付け・あいさつ							

(2) 活用を学習の中心に据えた6年生の単元計画（8時間扱い）

時	1	2	3	4	5	6	7	8
5	オリエンテーション ・学習のねらい ・学習の進め方 ・学習の約束	用具の準備・あいさつ 準備運動の跳び箱セットメニュー (①ステージへの跳び上がり・ステージからのうさぎ跳び下り・前転下り, ②セーフティーマットへの前転, ③壁のぼり逆立ちからの前転, ④アンテナブリッジ, ⑤連続うさぎ跳び, ⑥うさぎの足打ちからの前転)						
15	(服装・用具の準備・後始末・きまり)	めあての確認 (1) 基本的な支持跳び越し技のポイントを確認し、安定してできるようにする。 (2) 発展的な技のポイントを見つける活動し、グループ内で教え合いながら、それぞれの技が安定してできるように活動する。 (3) グループ毎に集団跳びの練習をし、発表し合う。						集団跳び発表会
25	・場作りの説明							
35	・準備運動の仕方 (セットメニュー)							
45	・ふりかえりの仕方							
45							集団跳び	
45	学習のふりかえり・後片付け・あいさつ							

5 指導に役立つ5年生の評価計画

時間	学習過程	学習活動における具体的評価規準		
		A：十分満足と判断できる状況 B：概ね満足できる状況		技能
		関心・意欲・態度	思考・判断	
1	オリエンテーション ①学習のねらい ②学習の進め方 ③学習の約束（服装・用具の準備・後始末・きまり） ④場作りの説明 ⑤準備運動の仕方(セットメニュー) ⑥ふりかえりの仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・器械・器具の準備や後片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 A：常に [行動観察] 		
2	①挨拶・用具の準備 ②セットメニュー ③めあての確認 ④開脚跳びをする ⑤大きな開脚跳びのポイントを見つけ、練習をする ⑥学習のふりかえりをする ⑦後始末・挨拶		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな開脚跳びの技のポイントについて考えている。 A：適切に [発言・ノート] 	
3	①～③は第2時と同じ ④開脚跳びをする ⑤自分の段階に合った場で大きな開脚跳びをする ⑥・⑦は第2時と同じ	<ul style="list-style-type: none"> ・約束を守り、友達と助け合って技の練習をしようとしている。 A：常に [行動観察] 		<ul style="list-style-type: none"> ・安定した開脚跳び・大きな開脚跳びができる。 A：スムーズに [行動観察]
4 (本時)	①～③は第2時と同じ ④おおきな開脚跳びをする ⑤かかえ込み跳びのポイントを見つけ、練習をする ⑥・⑦は第2時と同じ		<ul style="list-style-type: none"> ・かかえ込み跳びの技のポイントについて考えている。 A：適切に [発言・ノート] 	
5	①～③は第2時と同じ ④かかえ込み跳びをする ⑤自分の段階にあった場でかかえ込み跳びをする ⑥・⑦は第2時と同じ	<ul style="list-style-type: none"> ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全に気を配ったりしようとしている。 A：常に [行動観察] 		<ul style="list-style-type: none"> ・かかえ込み跳びができる。 A：スムーズに [行動観察]
6	①～③は第2時と同じ ④かかえ込み跳びをする ⑤台上前転の技のポイントを確認、練習する ⑥・⑦は第2時と同じ		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな台上前転の技のポイントについて考えている。 A：適切に [発言・ノート] 	
7	①～③は第2時と同じ ④台上前転をする ⑤大きな台上前転のポイントを見つけ、練習をする ⑥・⑦は第2時と同じ		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな台上前転の技のポイントについて考えている。 A：適切に [発言・ノート] 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した台上前転ができる。 A：スムーズに [行動観察]
8	①～③は第2時と同じ ④開脚跳び・かかえ込み跳び・台上前転をする ⑤グループ毎にそれぞれの技の発表をする ⑥・⑦は第2時と同じ	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動に進んで取り組もうとする。 A：常に [行動観察] 		<ul style="list-style-type: none"> ・開脚跳びや台上前転、かかえ込み跳びができるができる。 ・発展技に挑戦することができる。 A：スムーズに [行動観察]
努力を要する状況に対する支援の手立て		<ul style="list-style-type: none"> ・準備や後片付けの仕方を具体的に教える。 ・励ましたり、賞賛したりしながら学習に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導資料や友達の演技をもとにしながら助言する。 ・できる段階にフィードバックさせながら指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップの段階的な場を用意する。 ・補助する。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

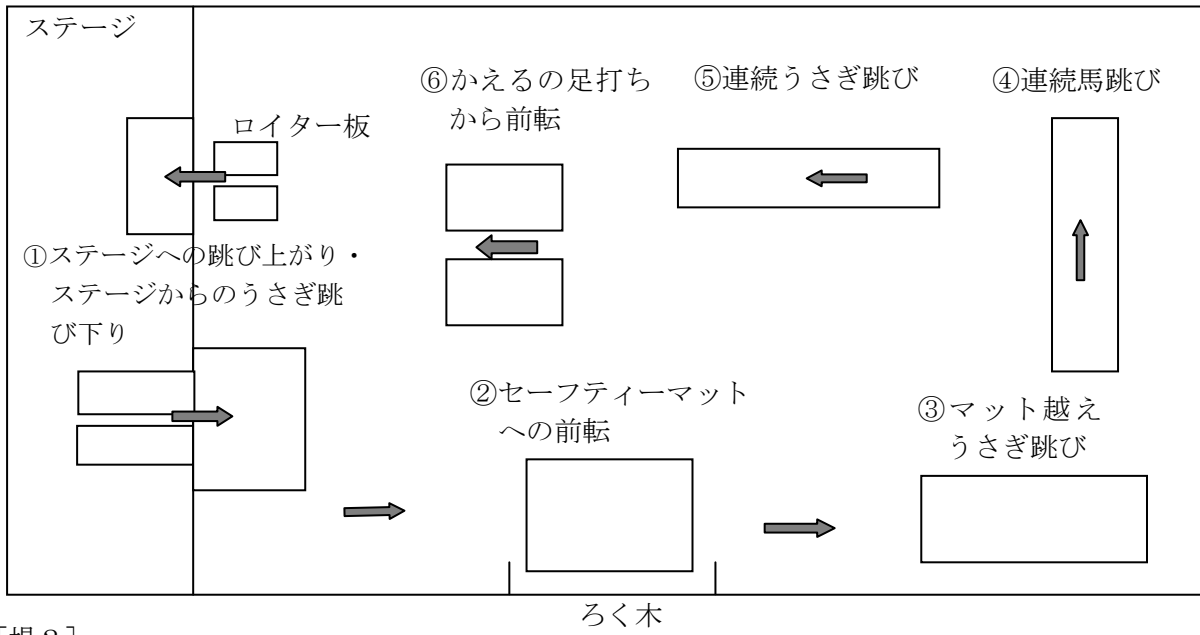
かかえ込み跳びができるための運動のポイントを見つけている。[思考・判断]

(2) 展開 (4時間目/8時間中)

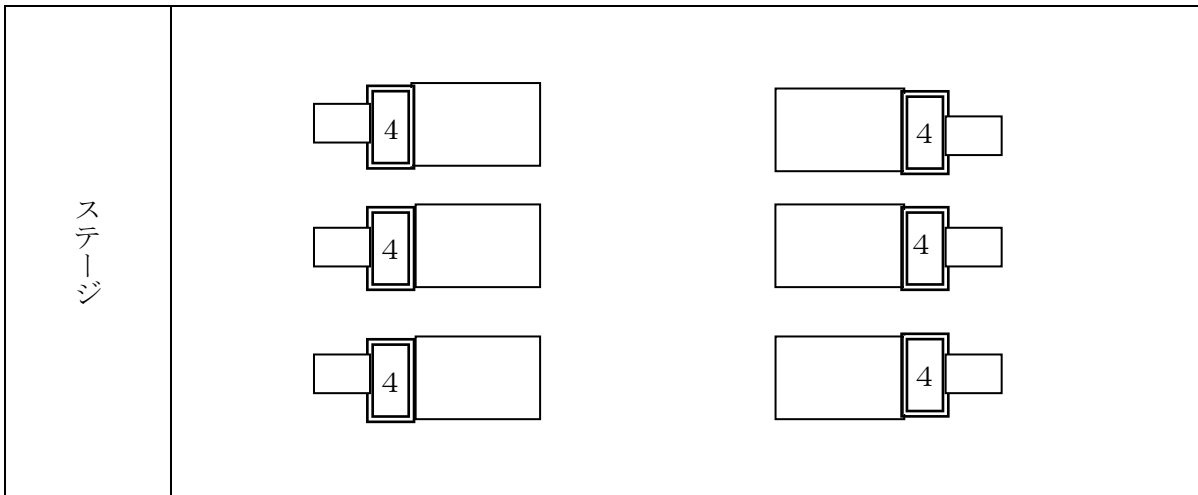
段階	学習活動	時間	指導・支援上の留意点 (○) 研究に関わる手立て (◎) 評価規準 (☆) 評価方法 (*)	用具資料
導入	1 整列・挨拶 2 跳び箱の準備 3 跳び箱セットメニュー [場1] ・ステージへの跳び上がり・うさぎ跳び下り ・セーフティーマットへの前転 ・マット越えうさぎ跳び ・連続馬跳び ・連続うさぎ跳び ・カエルの足打ちからの前転	9	○事前に健康観察・服装を確認しておく。 ○安全に配慮しながら、手際よく準備させる。 ○6つの動きをグループ毎に順番に協力しながらできるようにする。 ○ステージへの跳び上がり・うさぎ跳び下りの補助を中心に行い、かかえ込みの動きがしっかりできるよう助言する。 ○一人一人が意欲的に取り組めるように、賞賛したり励ましたりしていく。 ◎各運動を正確に行わせ、基礎的な感覚と基本的な動きを高められるように助言する。	踏み切り板 ロイター板 マット セーフティーマット CD
展開	4 学習内容の確認 かかえ込み跳びができるようになるためのポイントを見つけよう。 5 かかえ込み跳びの運動のポイントを見つける [場2] 6 かかえ込み跳びの練習 [場3] 7 かかえ込み跳びの成果の確認 [場2]	28	○本時の学習を確認する。 ○着手と空中姿勢について視点を絞り、運動のポイントを見つけることを確認する。 ○縦の跳び箱でもできるための運動のポイントであることを確認する。 ○グループ毎に横向きの跳び箱で練習しながら、ポイントを見つけさせる。 ◎見つけたコツを発表し合い、全員で確かめる。 ☆運動のポイントを見つけ、発表することができたか。 *行動観察 ○自分の段階に合わせた練習をする。 ○グループ内で運動のポイントを教え合いながら、練習をする。 ☆運動のポイントを意識して、友達と交流しながら練習しているか。 *行動観察・ノート ○グループ毎に横向きの跳び箱で、練習の成果を確かめさせる。 ○今日の学習でできたことについて数人に発表させ、成果を認め合う。	学習資料 跳び箱 踏み切り板 ロイター板 マット CD
終末	8 学習のまとめ (1) 整理運動 (2) 学習のふりかえり 9 挨拶・後片付け	8	○本時をふり返り、技の進歩について自己評価させる。 *ノート ○安全面に留意しながら、協力して素早く後片付けをさせる。	ノート 筆記用具 CD

7 場の設定

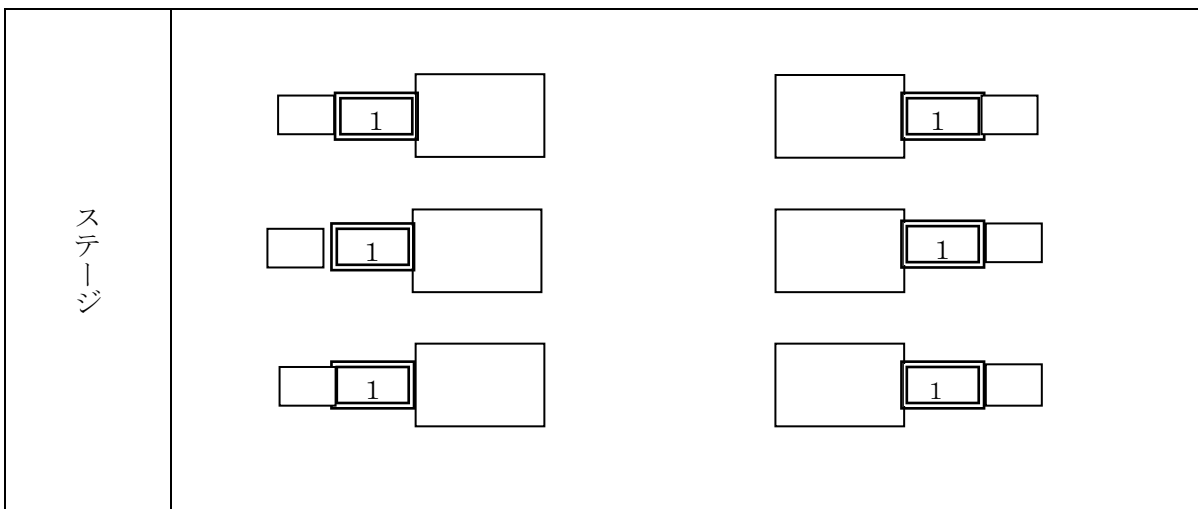
[場1]



[場2]



[場3]



[場4]

